

展示コーナー紹介

自然史応用展示室

本館3階では「自然を活かす人のちえ」をテーマに、金鉱山や農水産業など自然を利用した県内の産業についての展示を行っています。平成3年に完成してから25年間続いてきた常設展示で、より魅力的な展示にリニューアルする計画が進行中です。新展示の完成時期などの詳細は未定ですが、現在の展示を観覧できるのもあとわずか。是非ご覧になって、鹿児島県の豊かな自然や先人の知恵に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



本館3階展示「十島村口之島の野生化牛」

ボランティア募集

県立博物館には、中学生や高校生を対象とした「中・高校生ボランティアの会」と、大学生や一般の方々を対象とした「博物館ボランティアの会」があります。5月に行われる「博物館まつり」や毎週土曜日・日曜日の楽しい実験、天文教室、常設展示の解説、鹿児島県の貴重な標本や資料の整理など、博物館のあらゆる場面をボランティアの方々にお手伝いいただいています。このため、ボランティア会員は、博物館にとって欠かすことのできない存在となっています。

今回、平成28年度のボランティア会員を募集いたします。自然に興味を持っていらっしゃる方、子供が大好きな方、博物館でボランティアをしてみませんか。多くのご参加をお待ちしています。

学芸室の窓から



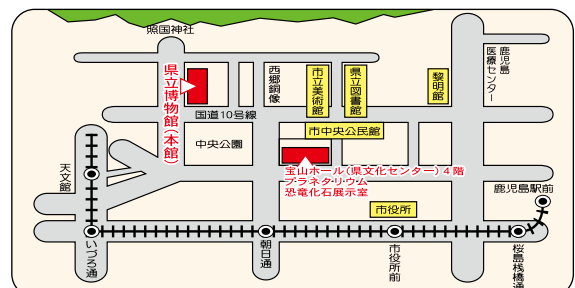
上の写真は、奄美大島の天の川を生まれて初めて撮った時のものです。雲一つない空に、美しい天の川を見ることができましたが、この時を境にその後は星空を見ることがほとんどできませんでした。まわりから言われた理由は私が「曇り男」だからのようです。

12月に奄美大島で開催した移動博物館では、星空観測会が2回ありました。再び奄美大島できれいな星空を見ることができると期待していましたが、1日目は雨天で観測できませんでした。しかし、観測会が終わってしばらくすると、何ということか雲の切れ間から星が見えてくるではないですか…！

2日目は快晴でした。奄美大島の空に、きれいな星々が輝いていました。

「これで『曇り男』の名は返上だ！」と意気込み、望遠鏡を外にセットしてから星空についての講義を行いました。50分後、いよいよ外に出て、実際の星空を解説し始めると、快晴だった空には、あっという間に雲が広がり、みるみる星が見えなくなってしまうのではないですか…。自分の不思議な「曇り男」ぶりを再確認した今回の移動博物館でした。

●鹿博だより 編集・発行 鹿児島県立博物館
〒892-0853 鹿児島市城山町1番1号
TEL 099-223-6050 FAX 099-223-6080



ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/hakubutsukan/>